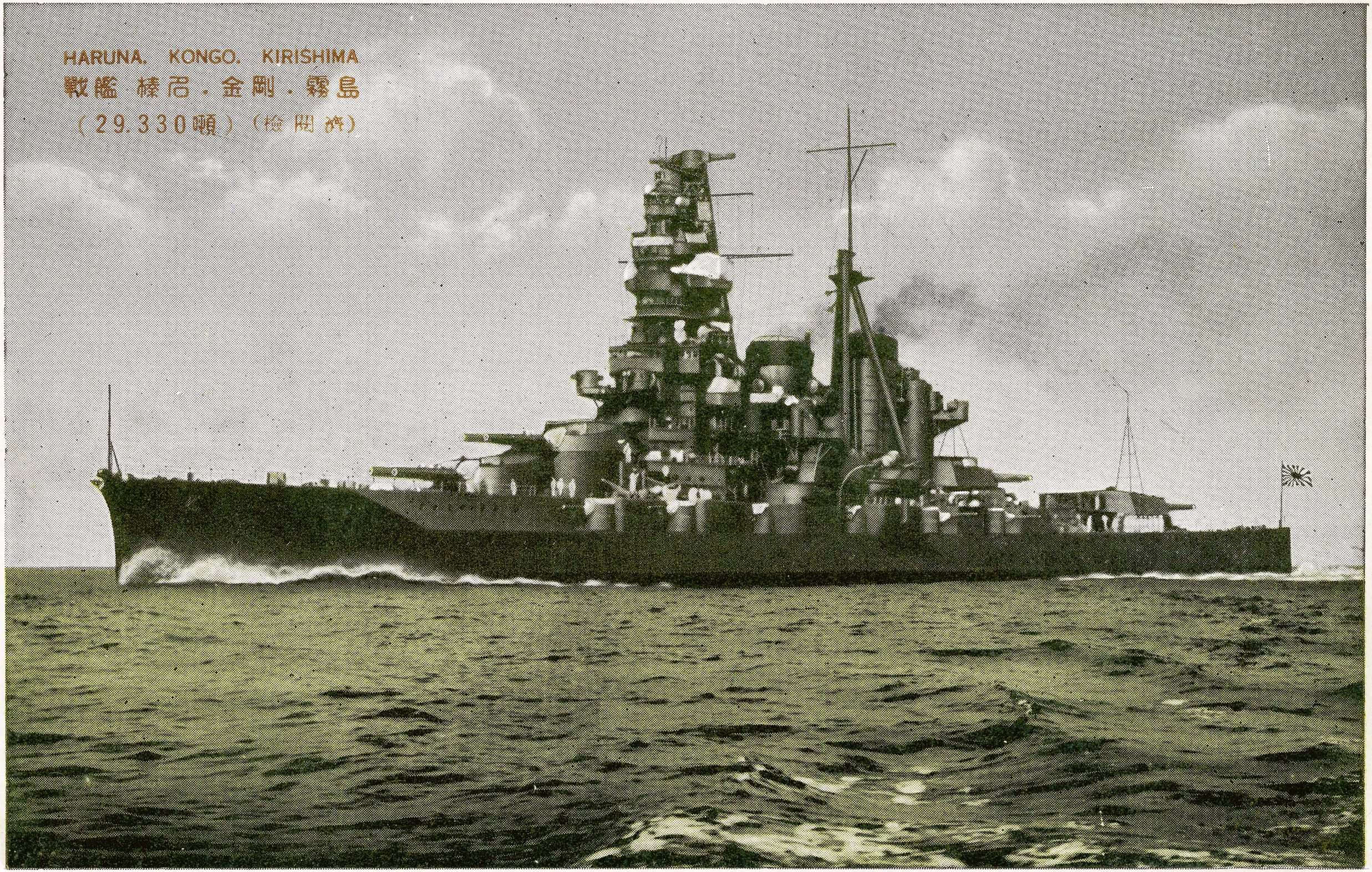
HARUNA. KONGO. KIRISHIMA

戰艦 榛名・金剛・霧島

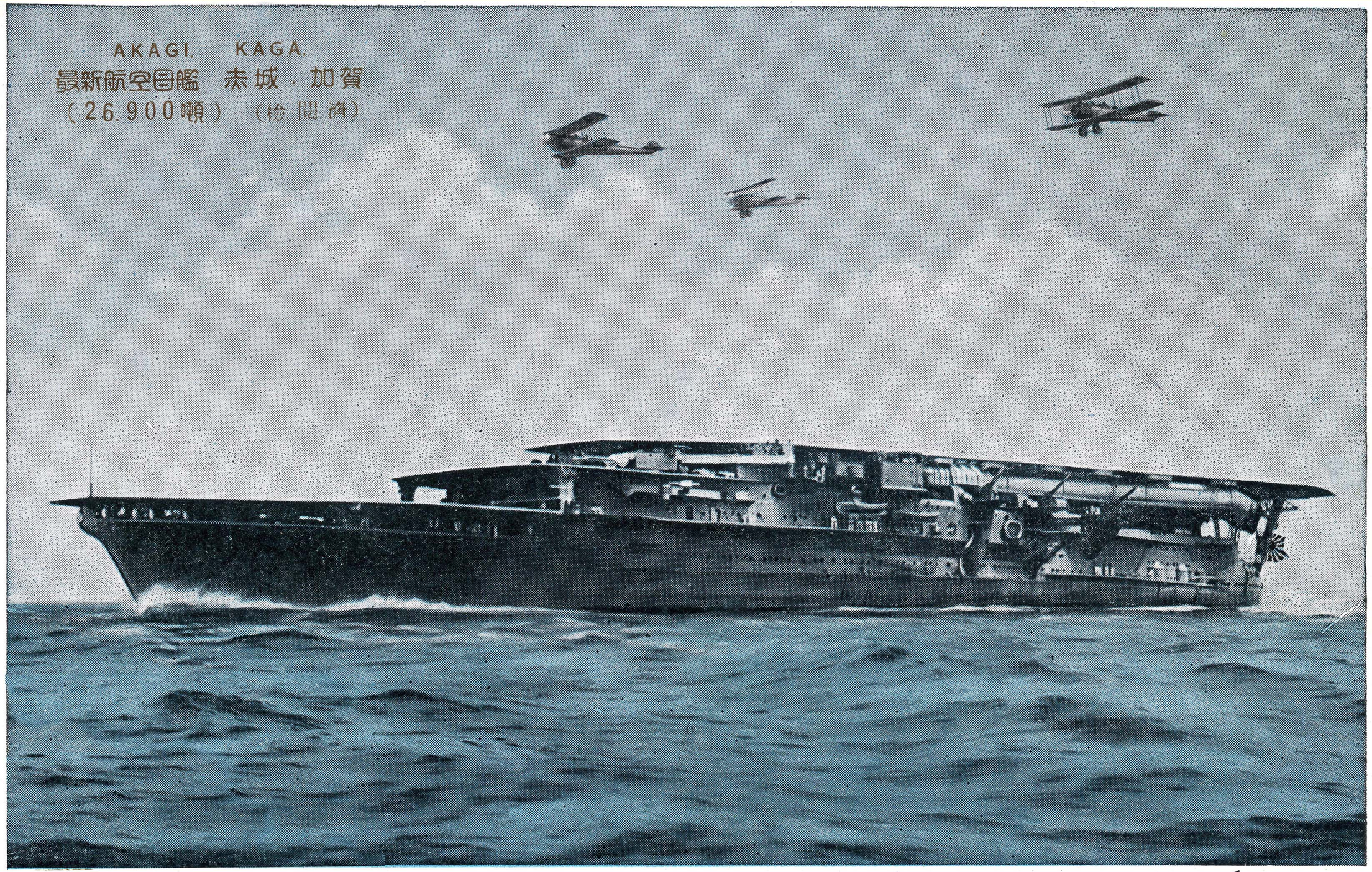
（29.330噸）（檢閱濟）



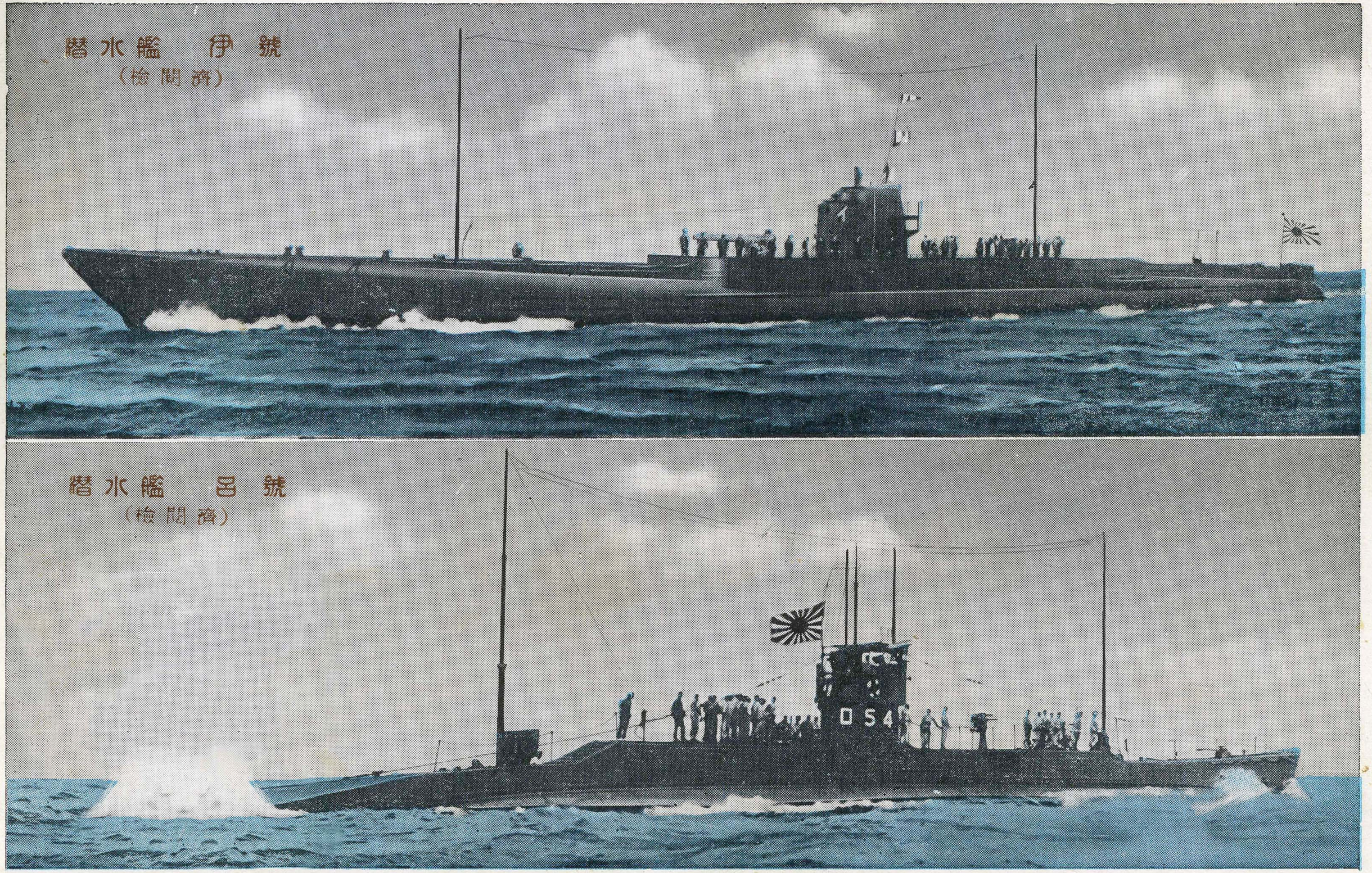
AKAGI. KAGA.

最新航空母艦 赤城・加賀

（26,900噸） （檢閱濟）



潜水艦　伊號
（檢閱濟）

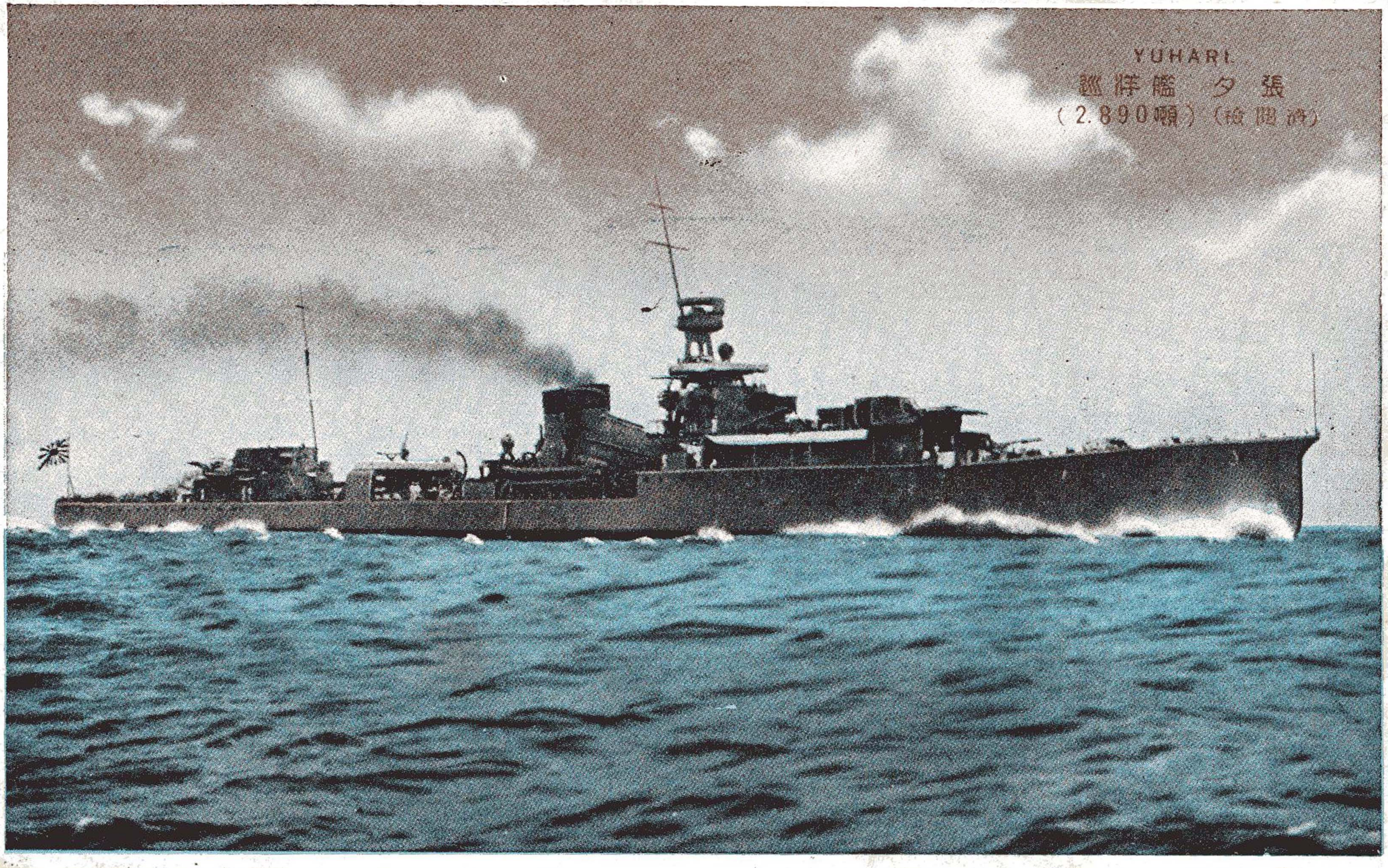


潜水艦　呂號
（檢閱濟）

YUHARI

巡洋艦 夕張

（2,890噸）（檢閱時）



PLACE STAMP HERE

POST CARD

CORRESPONDENCE ADDRESS

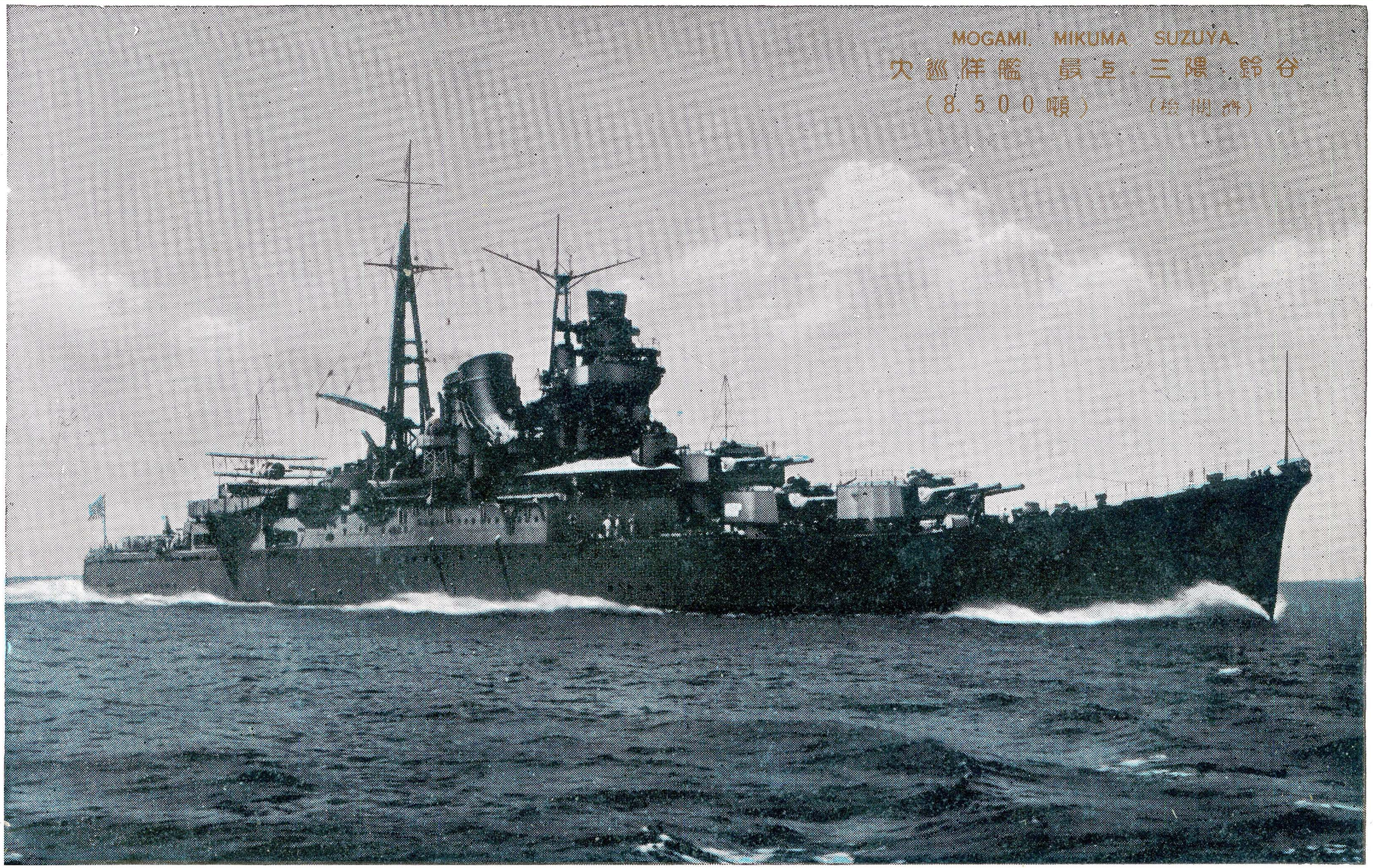
郵便はがき

ラバウル港内にて爆撃を受くるも
艦尾発煙筒に若干の損害
あり一般は異常なし.

MOGAMI MIKUMA SUZUYA

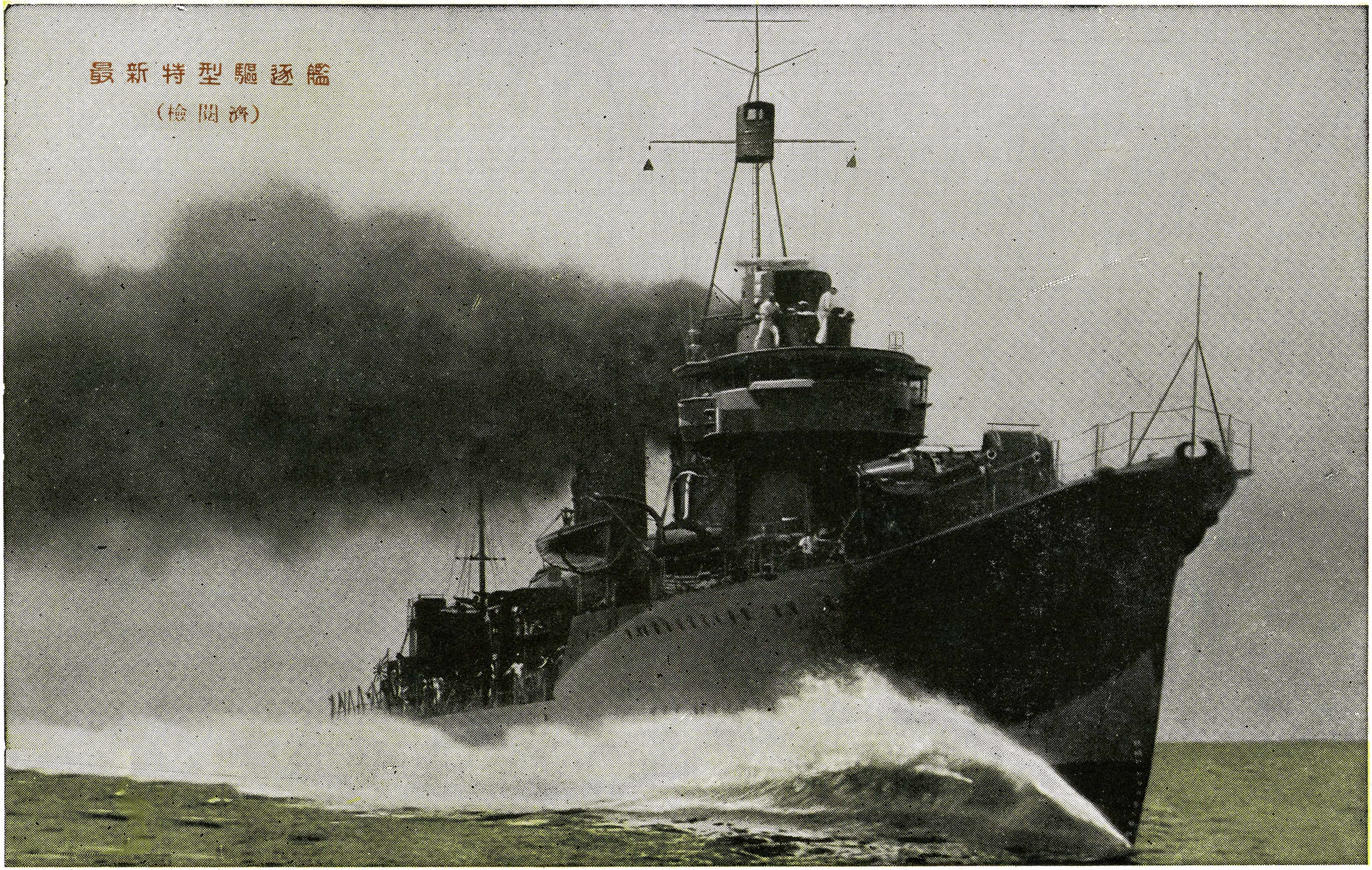
次級巡洋艦 最上・三隈・鈴谷

（8,500噸） （松樹丸）



最新特型驅逐艦

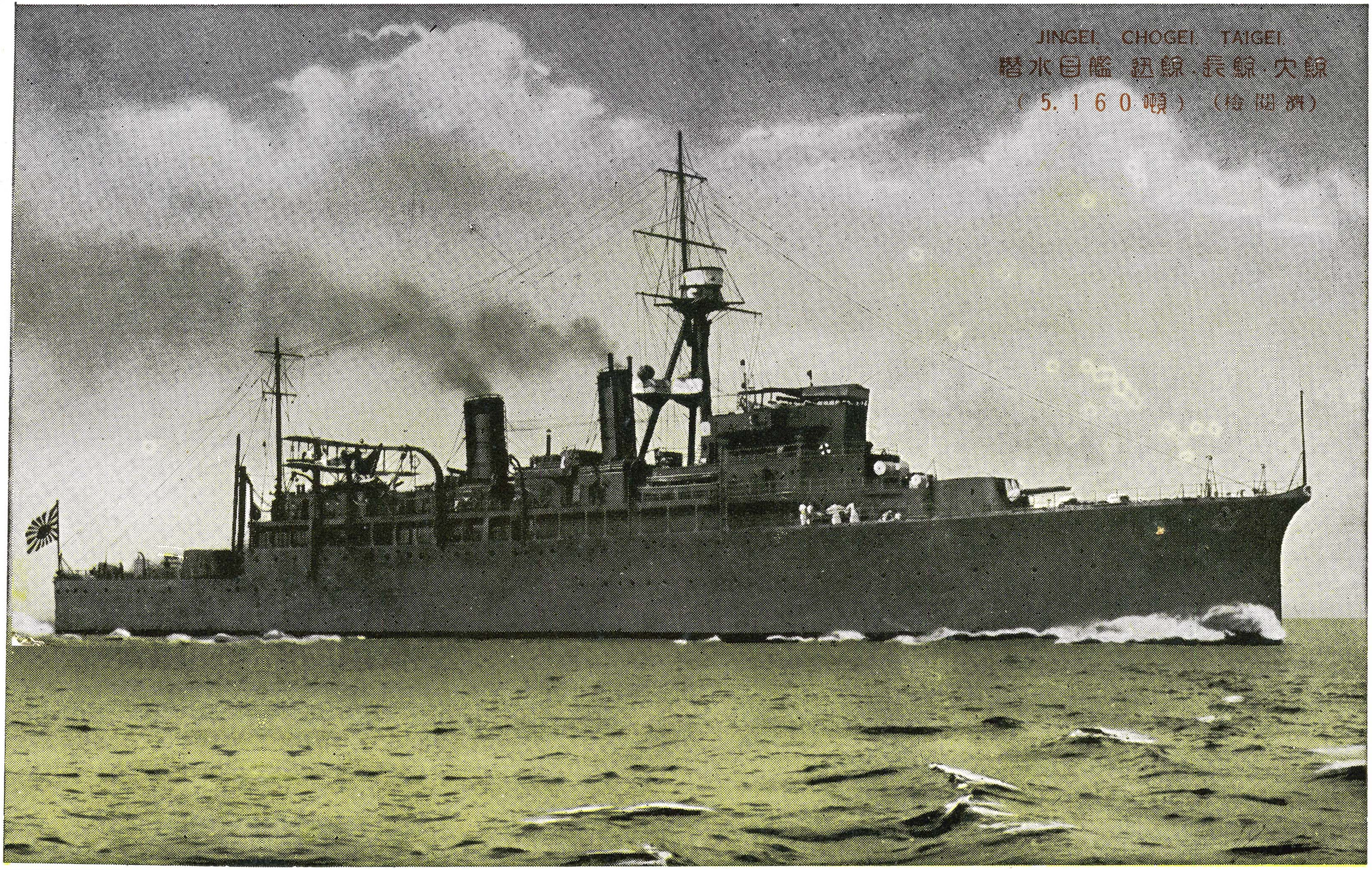
（検閲済）



JINGEI, CHOGEI, TAIGEI

潜水母艦 鯨鯢・長鯨・大鯨

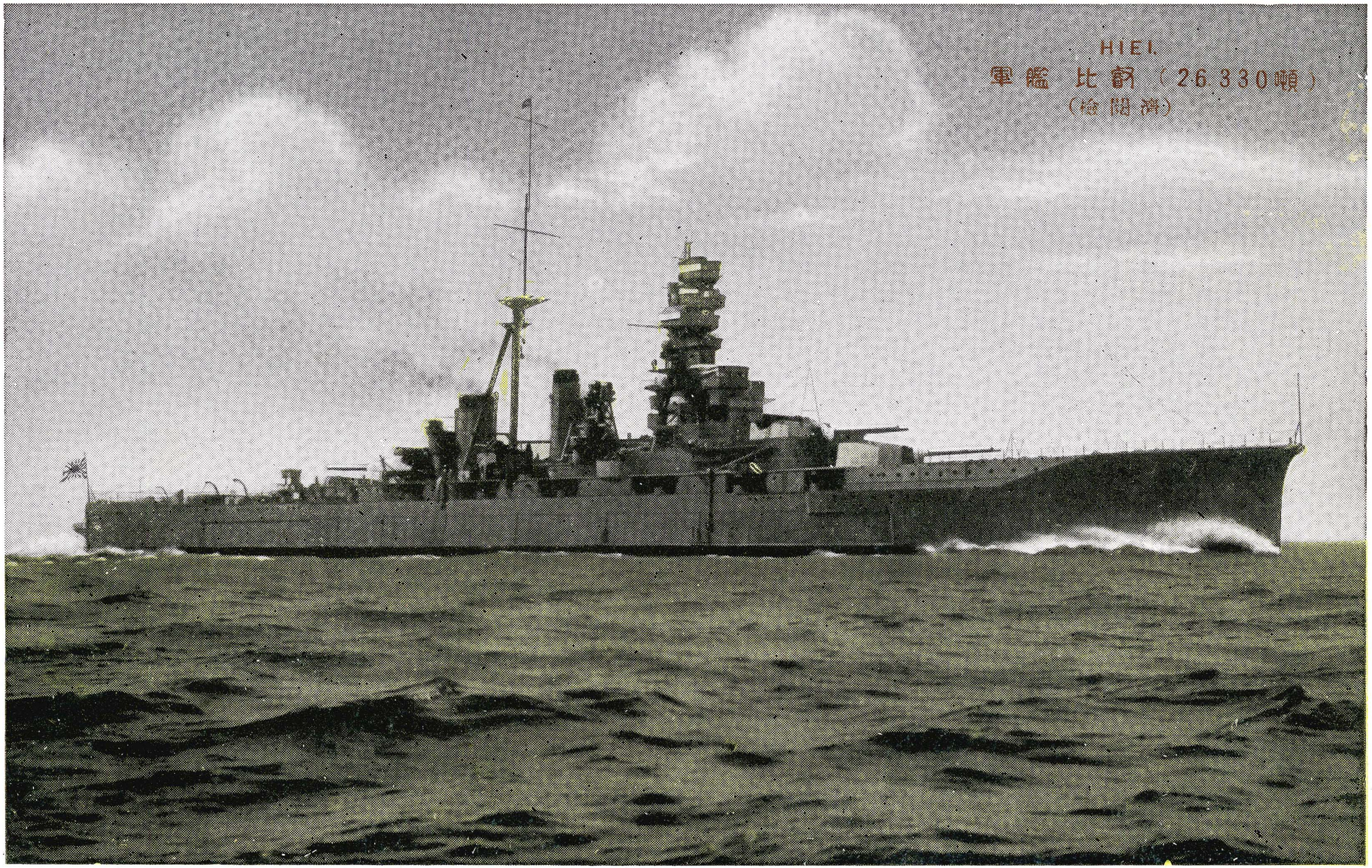
（5,160噸）（検閲済）



HIEI

軍艦 比叡（26330噸）

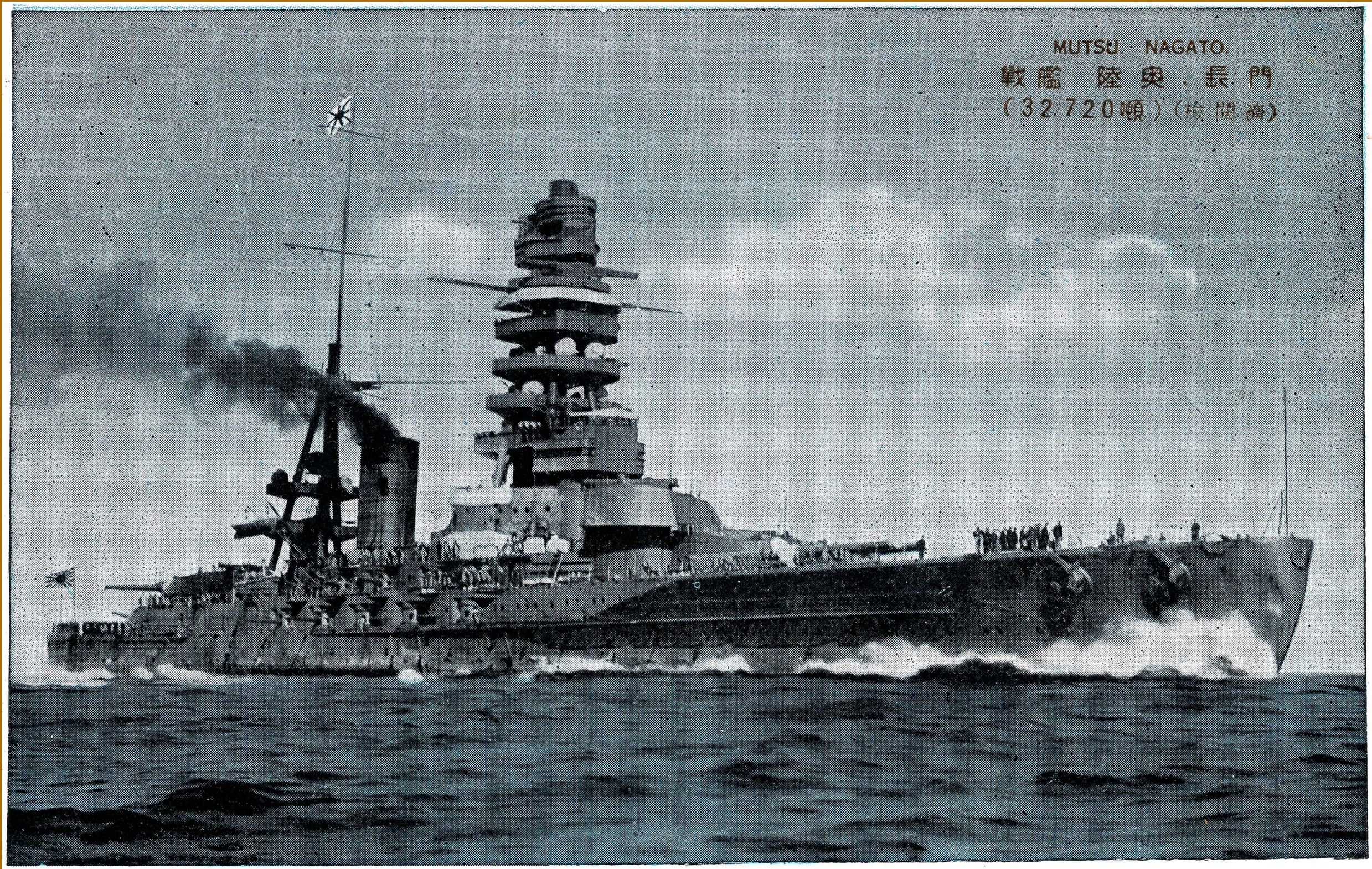
（檢閱濟）



MUTSU NAGATO.

戰艦 陸奥・長門

（32720噸）（檢閱濟）



POST CARD

CORRESPONDENCE

ADDRESS

PLACE STAMP HERE

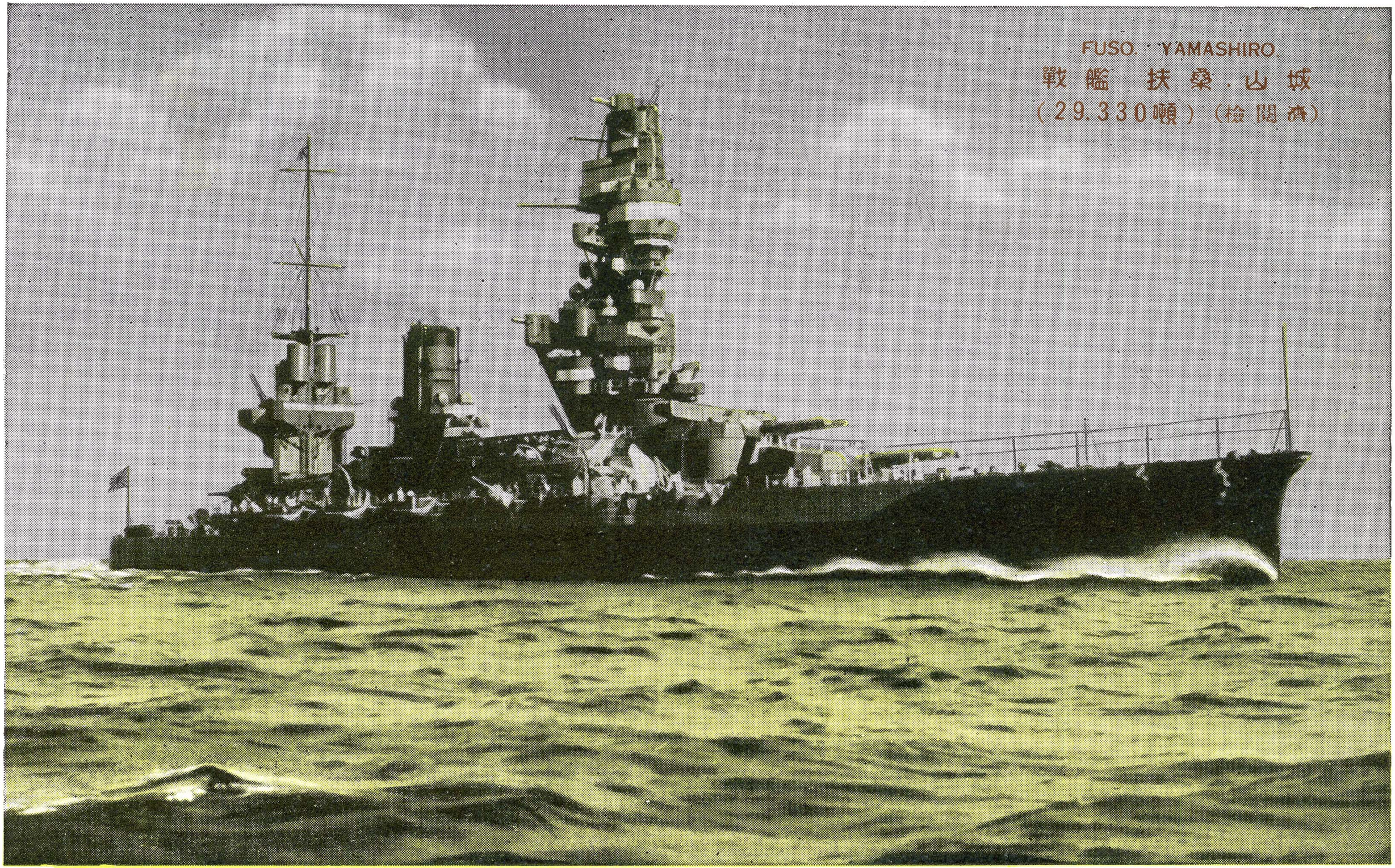
大改装を加へられ見異ふることあり

〒

FUSO. · YAMASHIRO.

戰 艦 扶桑．山城

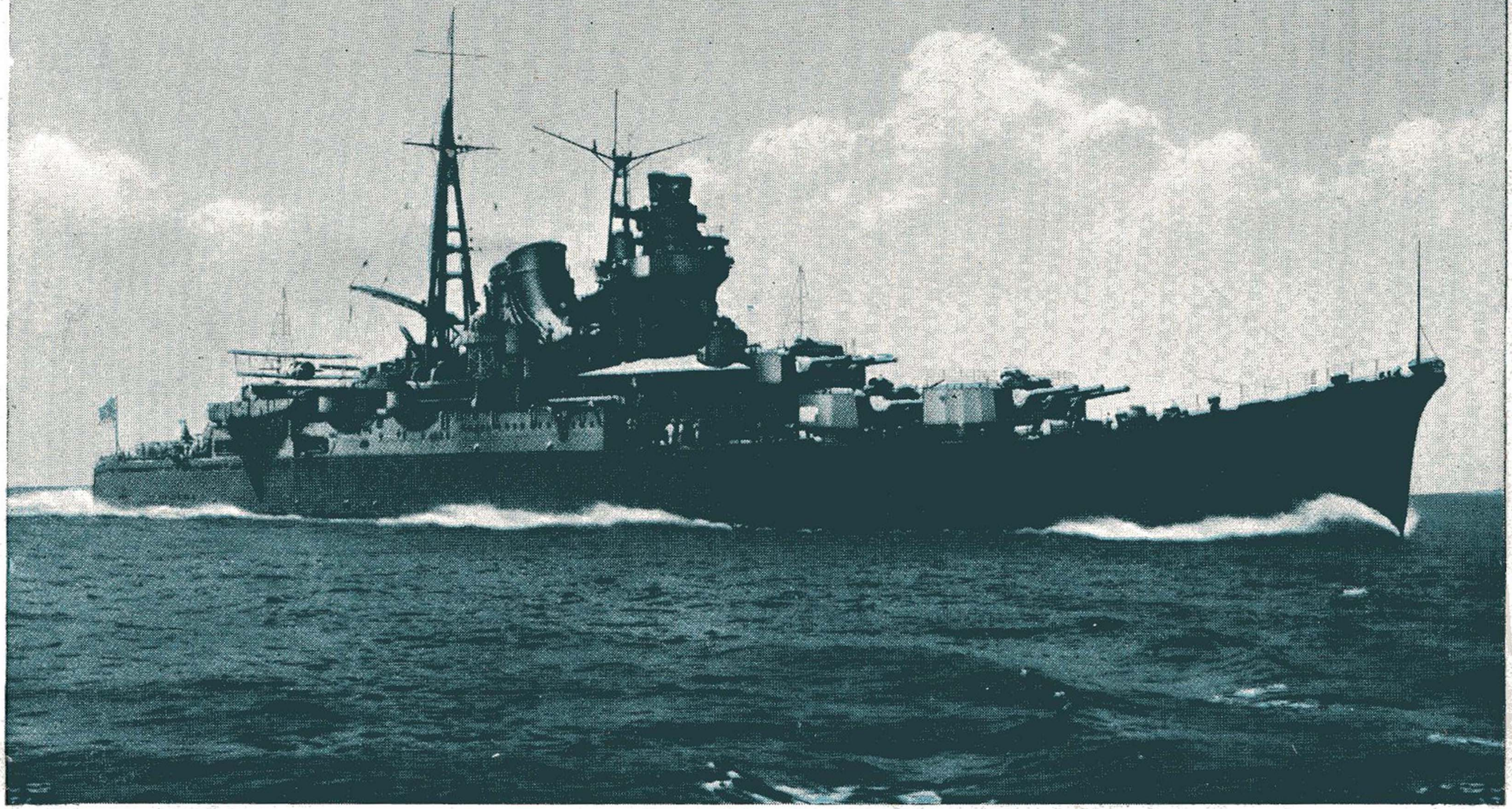
（29.330噸）（檢閱艦）



MOGAMI. MIKUMA. SUZUYA.

大巡洋艦　最上・三隈・鈴谷

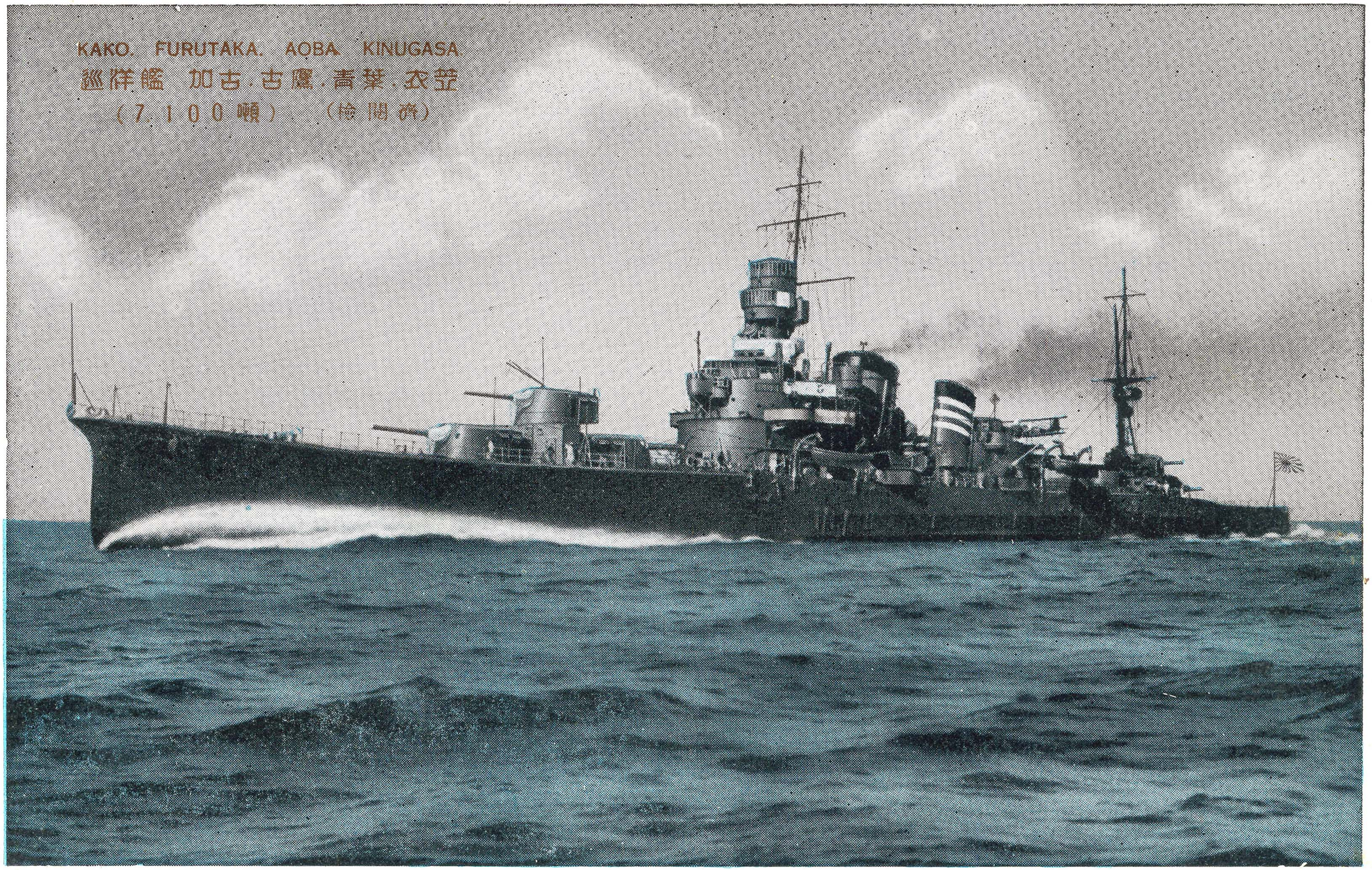
（8,500噸）　（給期許）

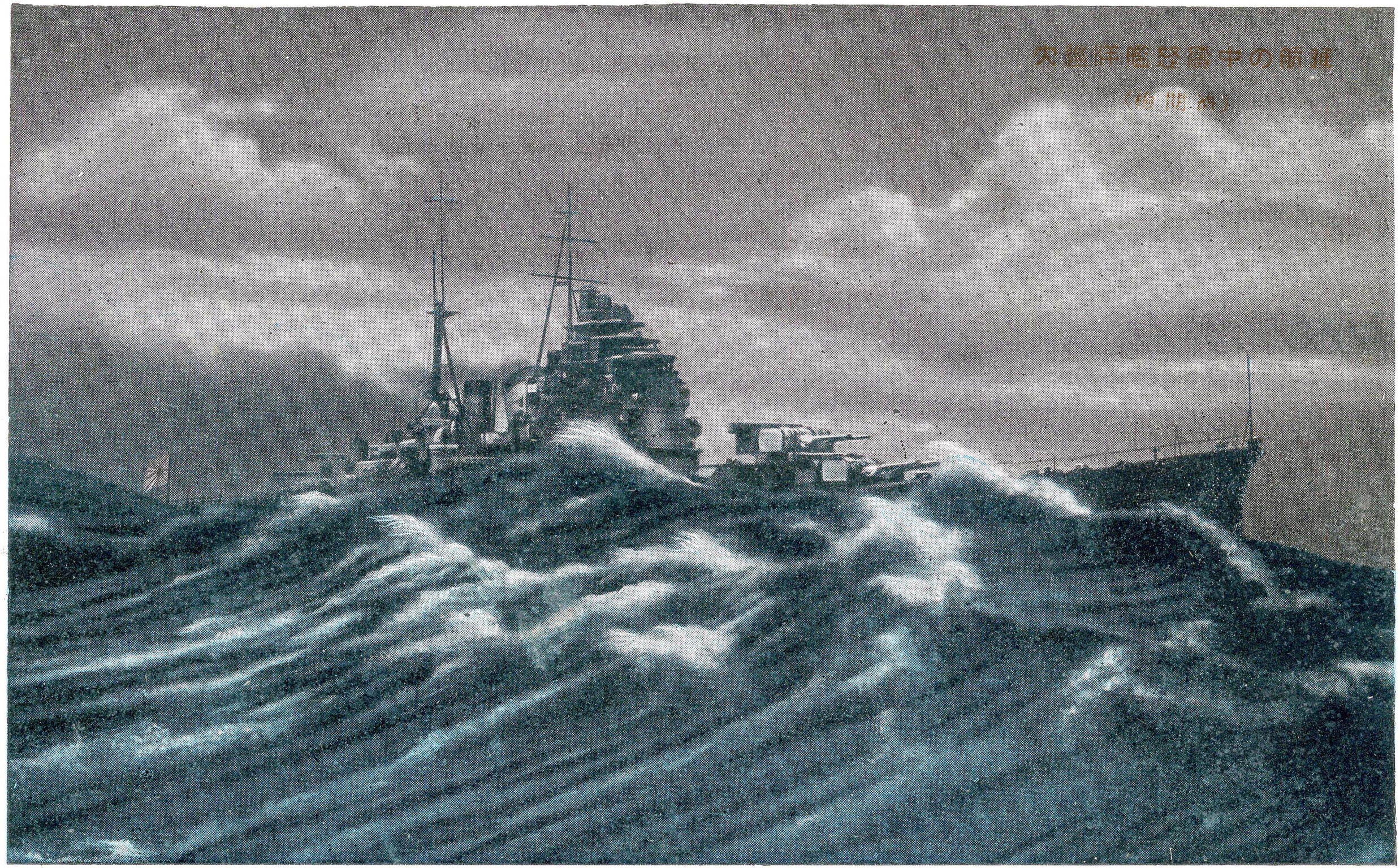


KAKO. FURUTAKA. AOBA. KINUGASA.

巡洋艦 加古.古鷹.青葉.衣笠

（7,100噸） （檢閱濟）




大型航空母艦発艦準備中の航空

NACHI. MIYOKO. HAGURO ASHIGARA

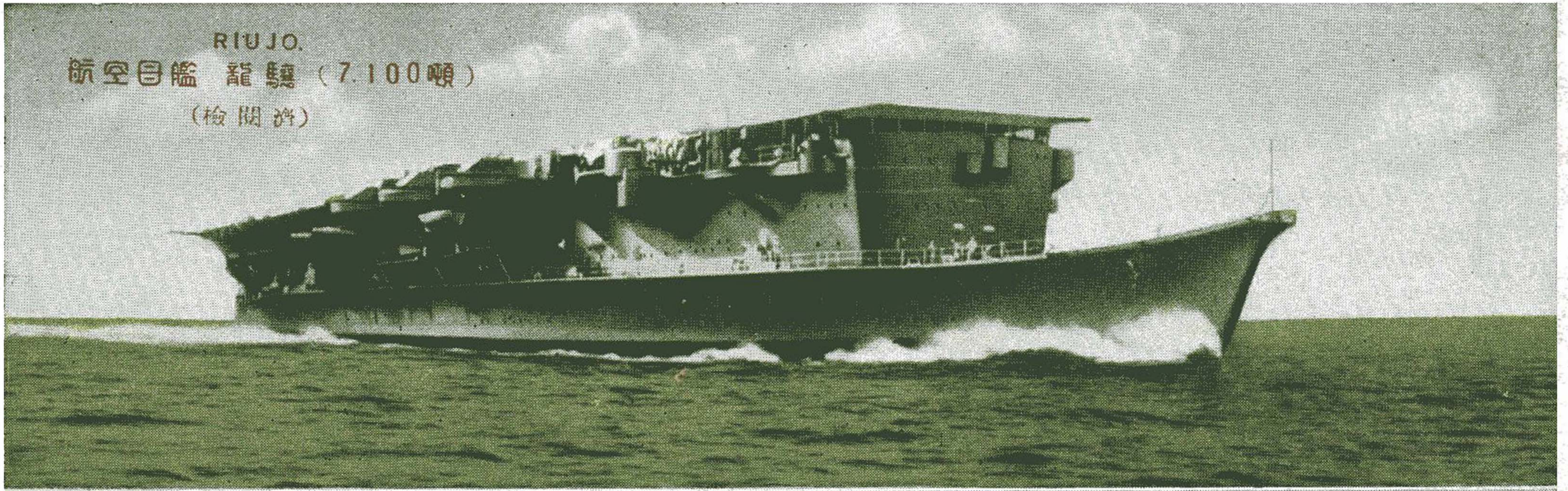
巡洋艦 那智.妙高.羽黒.足柄

（10.000噸） (旗艦)

RIUJO.

航空母艦　龍驤（7,100噸）

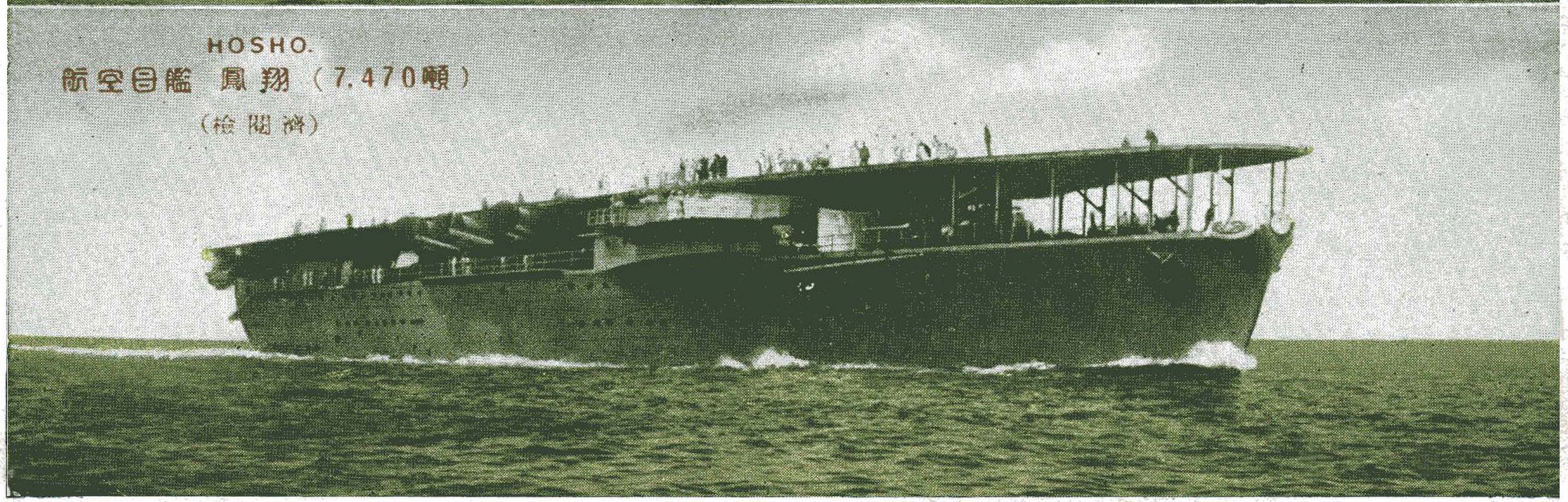
（檢閱濟）



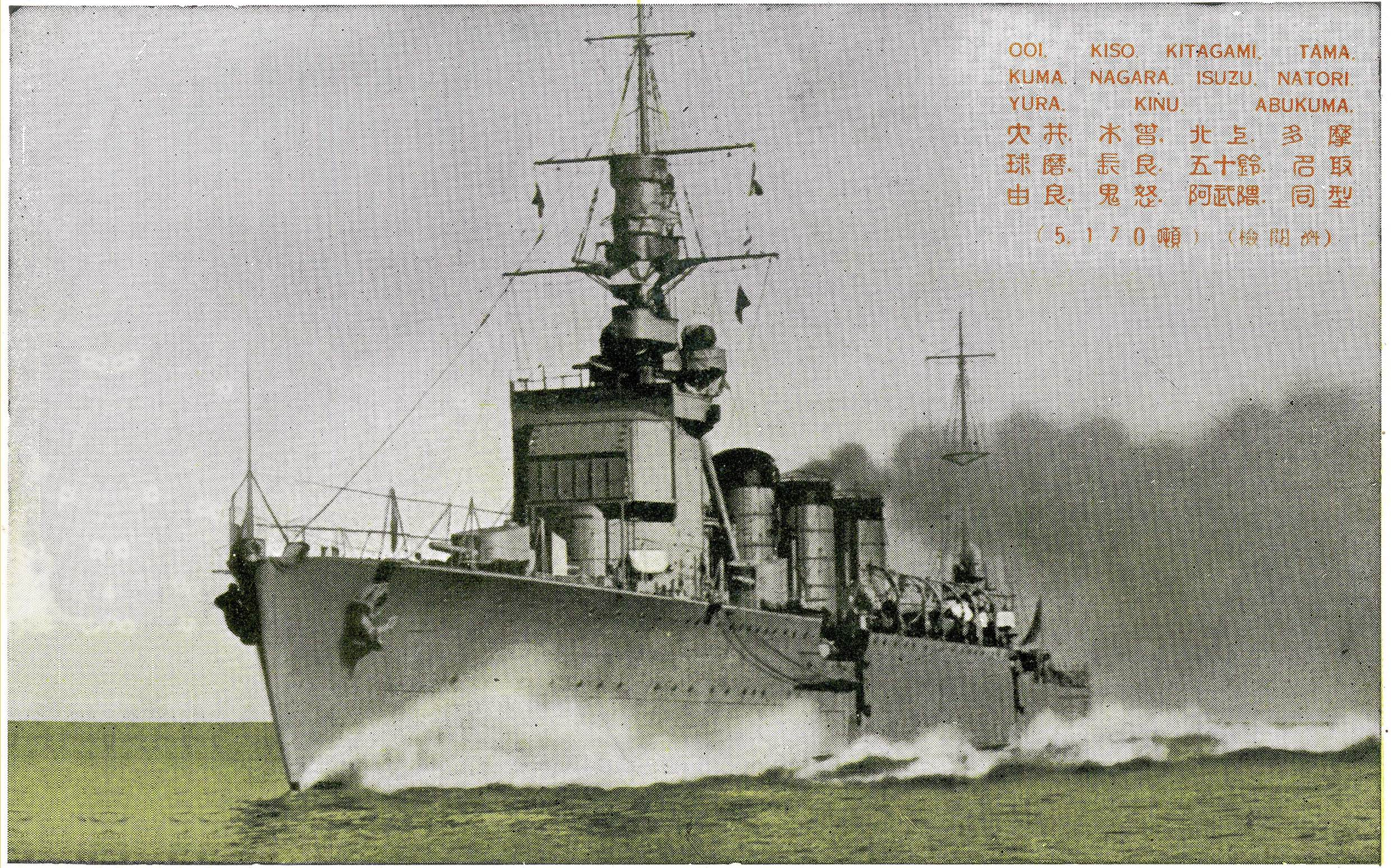
HOSHO.

航空母艦　鳳翔（7,470噸）

（檢閱濟）



OOI. KISO. KITAGAMI. TAMA.
KUMA. NAGARA. ISUZU. NATORI.
YURA. KINU. ABUKUMA.
大井. 木曾. 北上. 多摩
球磨. 長良. 五十鈴. 名取
由良. 鬼怒. 阿武隈. 同型
（5,170噸）（檢閱濟）



きがは便郵

PLACE STAMP HERE

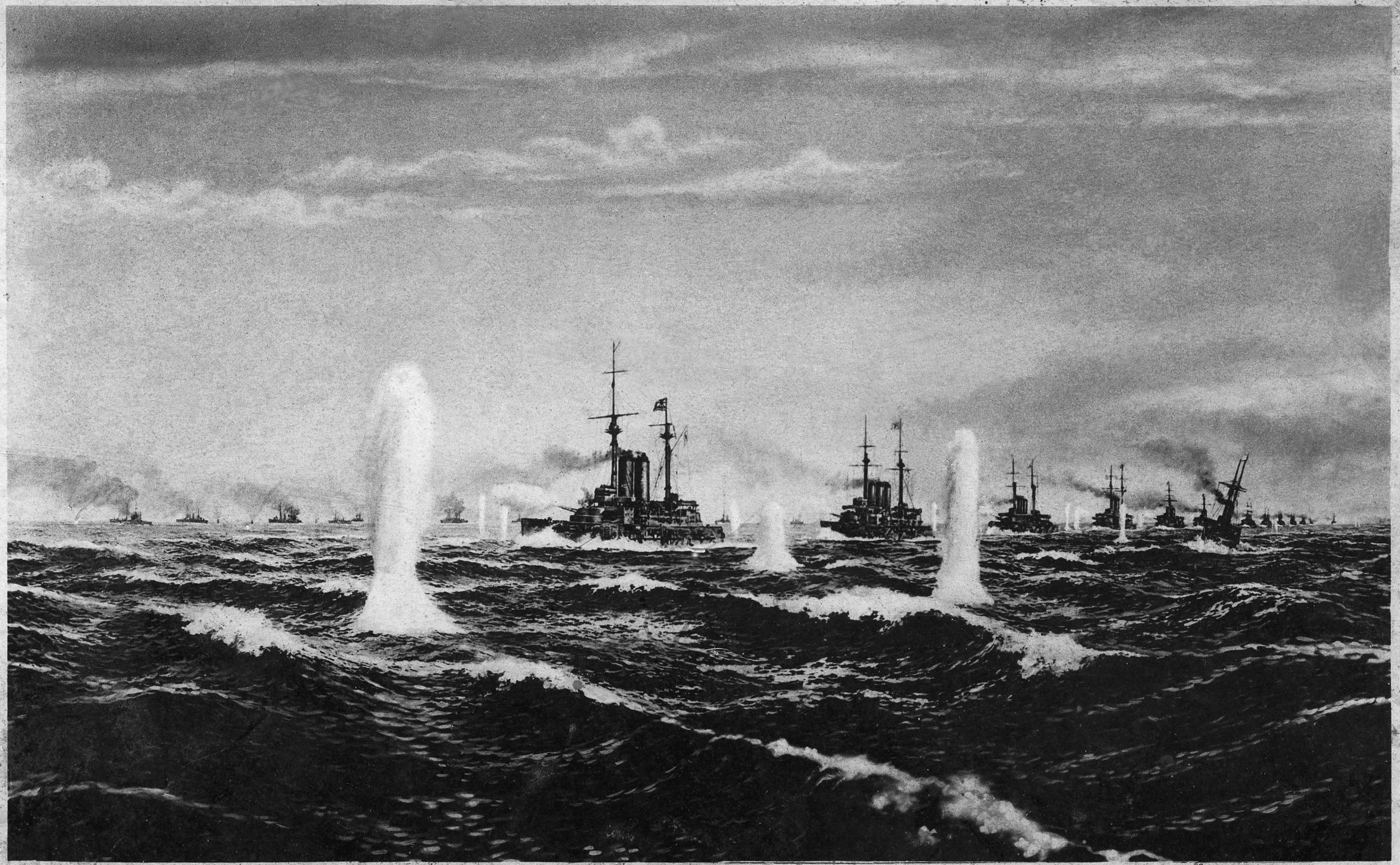
POST CARD

CORRESPONDENCE

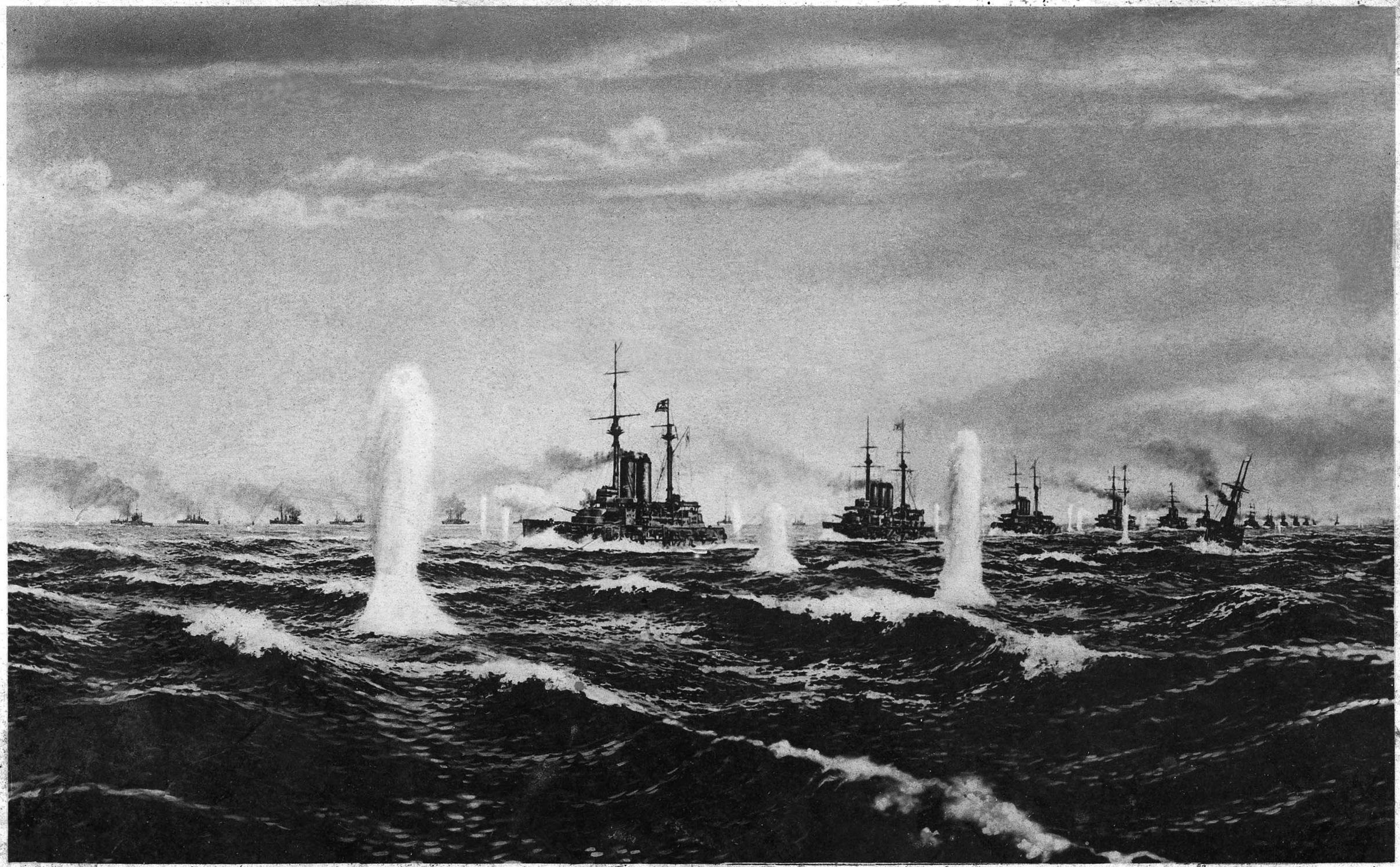
ADDRESS

護送

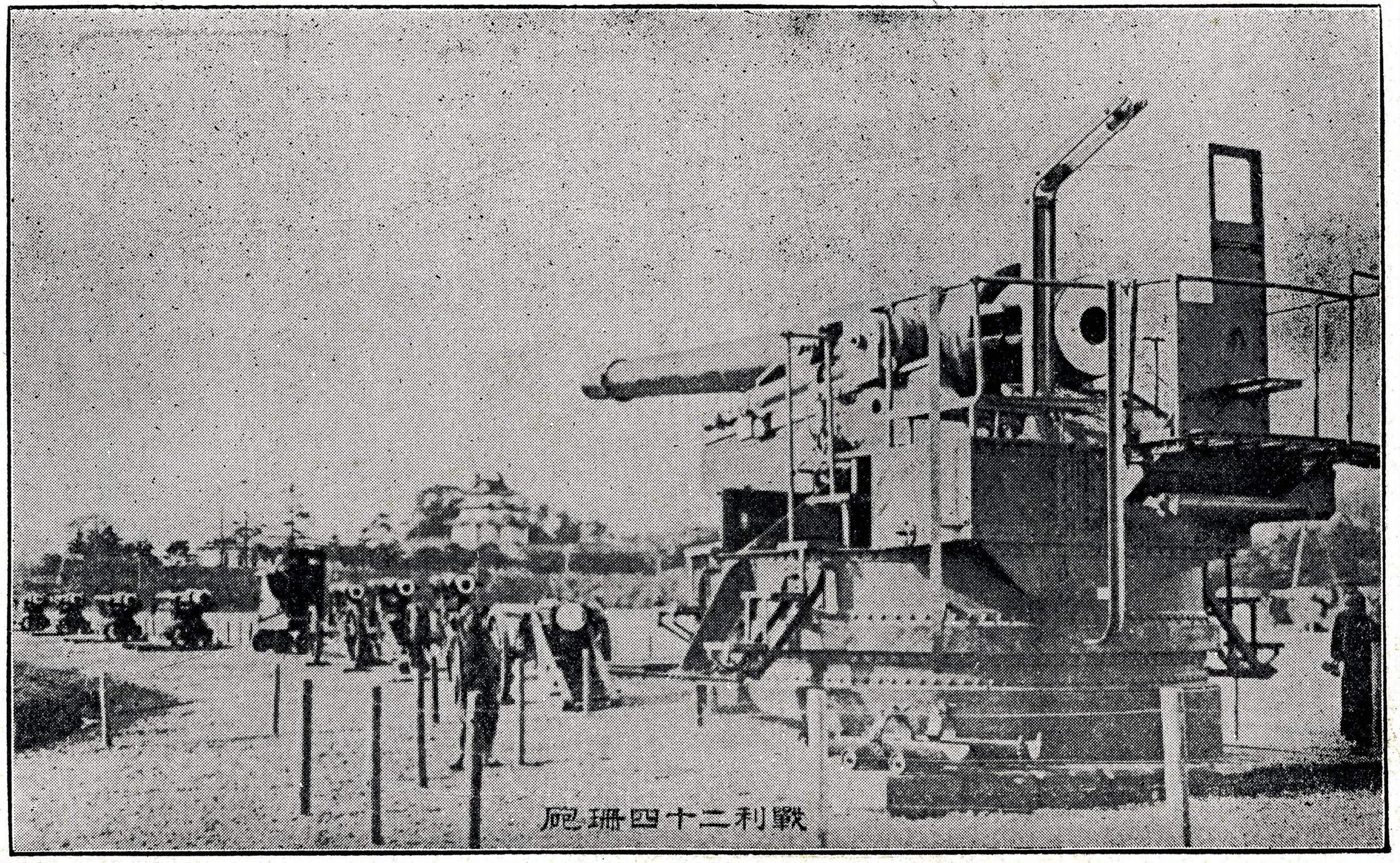
刑務所.



（日本海大海戰）　明治三十八年五月二十七日午後二時過



（日本海大海戰）　明治三十八年五月二十七日午後二時過



戰利二十四册砲

きかは便郵

大観兵式紀念

CARTE POSTALE



第一師團長閑院中將宮殿下

二十八珊大榴彈砲

YANAGIWARA KANDA
TOKYO JAPAN
N. SANSEIDO

キカイ暗愛起

Postale

Carte



凱旋紀念五二共進會出品紀念繪葉書

PUBLISHED BY
光彩堂
TOKYO

UNION POSTALE UNIVERSELLE

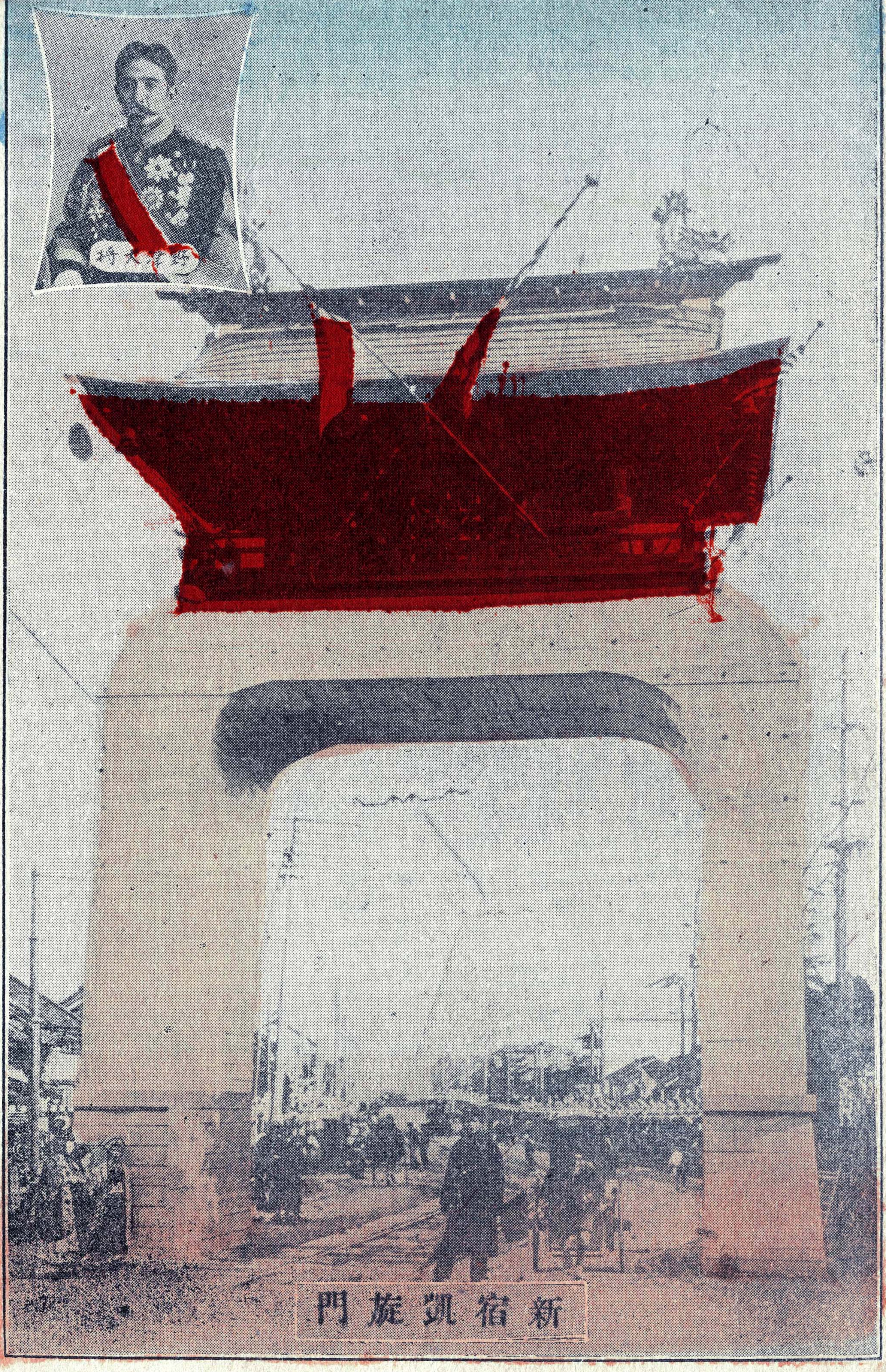
CARTE POSTALE

禁無複寫


凱旋門宿泊

Carte Postale

郵便はがき



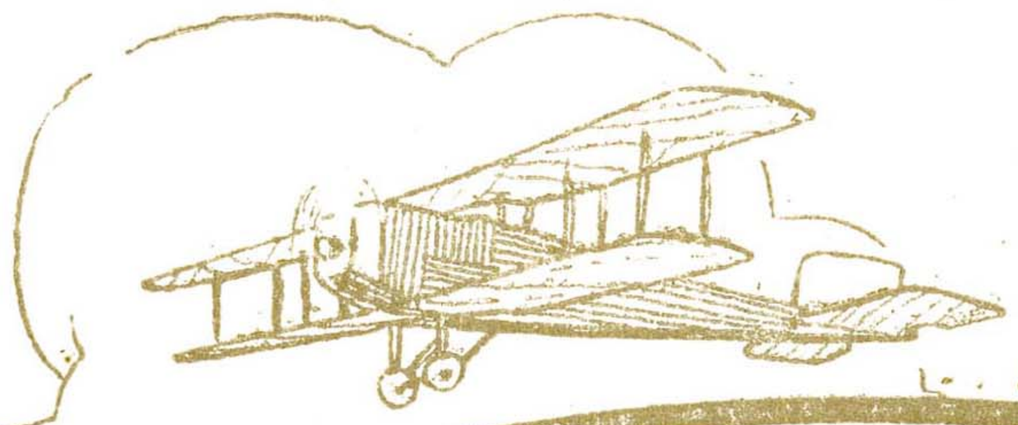
新宿凱旋門

Unior Postale Uni.Ve rselle.

CARTE POSTALE

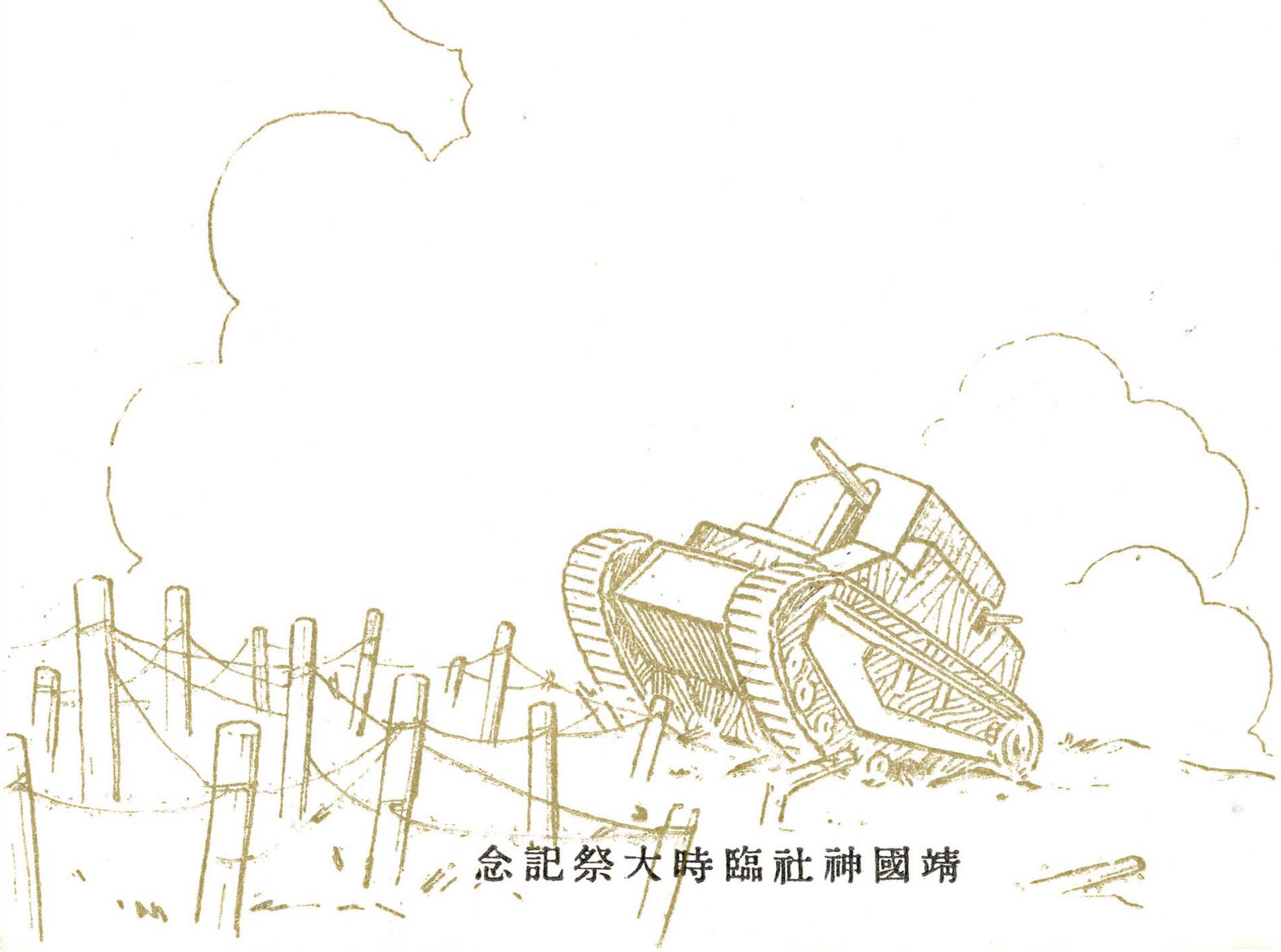


宛名は必ず本文と別に書くこと





拜禮軍陸の前殿拜



靖國神社臨時大祭記念

靖國神社
記念
參拜
昭和19.4.29

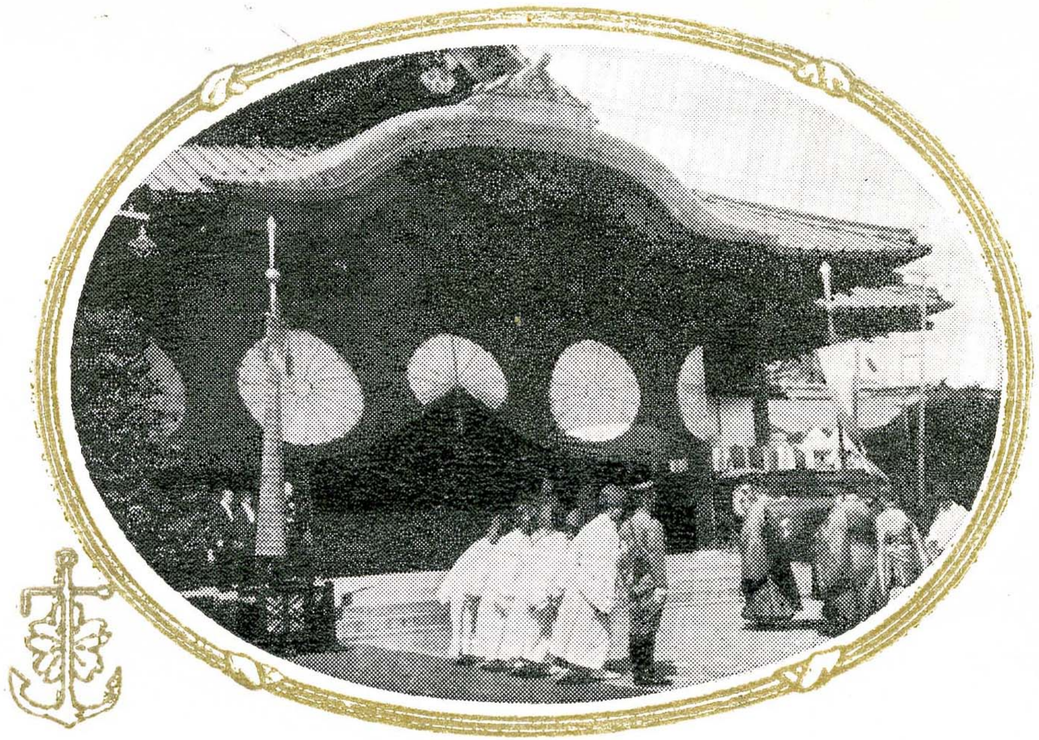
POST CARD

MADE IN JAPAN SEIKAIDO TOKYO



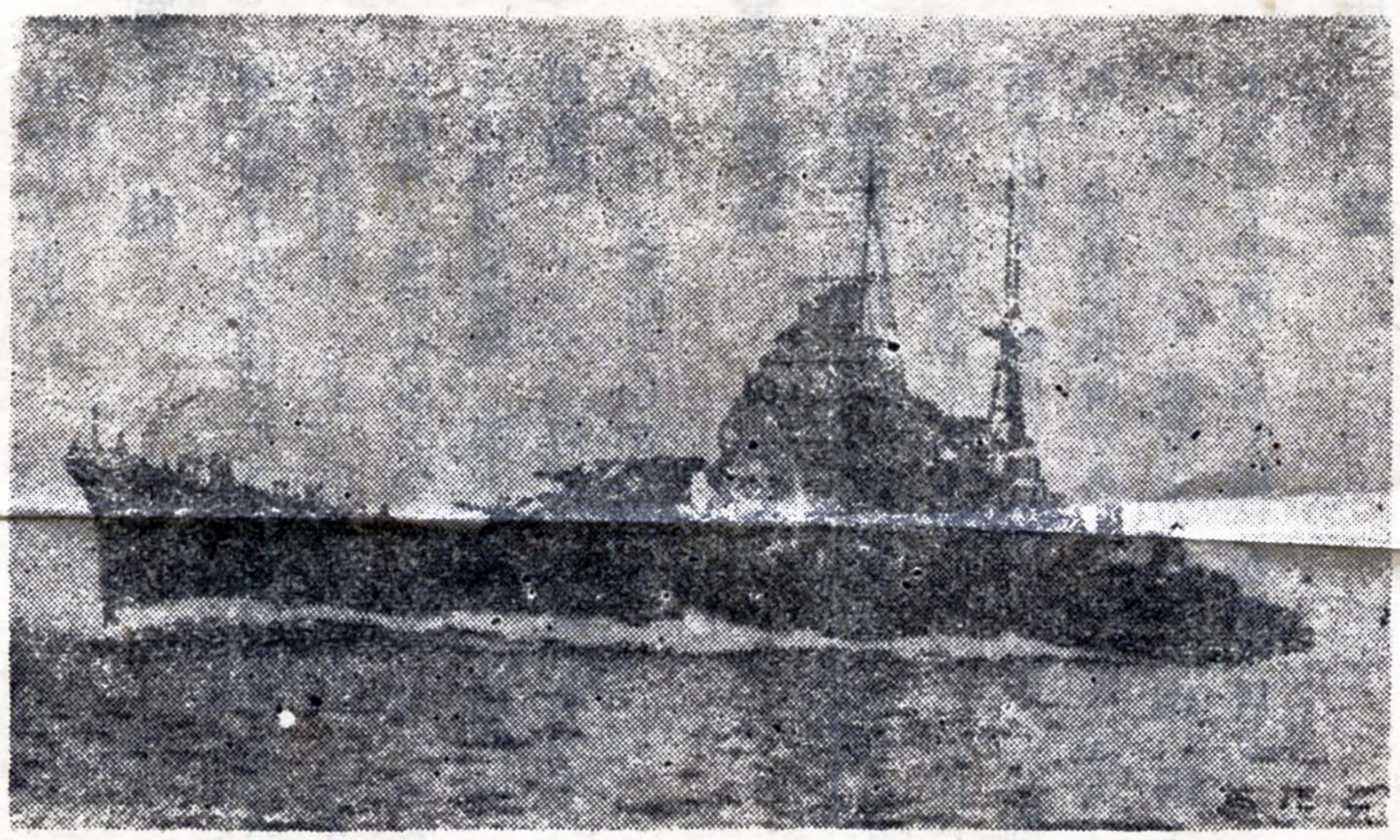


踏雜の者拜參



殿　拜

靖國神社臨時大祭記念



軍艦愛宕案内

艦　種

本艦は最新最鋭の一等巡洋艦で世界何れの海軍の其れと比較しても決して負けをこらぬ優秀な性能を持つてゐる。

製造所

呉海軍工廠に於て昭和二年四月十八日起工せられ、昭和五年六月十六日進水、京都の愛宕山にちなむで命名せられ、昭和七年三月三十日竣工軍艦旗を掲揚した。

主なる要目

排水量は一萬噸、長さ約二百米、幅二十米で全速力三十三節（ノット）即ち一秒間に十七米の速さで走るから超特急燕よりも速いことになる。大砲は二十糎砲で砲塔を五基持つてゐるから合計十門である高角砲は十二糎で四門、それに機銃、小銃、拳銃等を澤山持つてゐる。尚水雷發射管は四基持つてゐる。探照燈は十里位の遠い所からでも光がよく見えるのが四台ある。

乘　員

准士官以上約六十名、下士官兵約八百名で全体で九百名近くである。

端　艇

内火機械を持つたのが五隻あり、その中二隻は内火艇で三十名乘り、他の二隻はランチで一二〇名乘れる。外に内火通船一隻がある。カッターは三隻で一隻に五十名乘れる。海軍のボートレースにはこのカッターを使ふ。

錨

大錨は重さ一五〇〇貫のものが二つ艦首にある。その外中、小錨が二つある。

主機械

タルビン式の機械を持つてゐて推進器は四本ある。

汽　罐

罐室は幾つにも分れてゐて水管式の罐十二個があり、燃料には重油を使ふから煙

昭和十六年見学

岡田

は少しも出ない。

電機

發電機は五台持つてゐて約六十燭光の電燈三萬個着ける事が出來るから一寸大きな都會の電燈全部をつける位の力がある。その外通風機械、製氷機械、冷却機械、揚錨機、ポンプ、何でも電氣でやつてゐるこいふ素晴らしさである。

電信電話

無線電信は日本は勿論外國とも通信が出來る。無線電話があつて他の艦と自由に話が出來る。艦内には電話が約三〇〇個あつて電話交換所がある。高聲令達器といふのがあつて號令をかけると艦の隅々まで號令が直ぐ屆く樣になつて居る。

居室

(イ)准士官以上には准士官室、第一、第二士官次室、士官室、艦長室、參謀長室、長官室等がある。其の他事務室もあり、又分隊長以上特務士官には私室がある。

(ロ)下士官兵は中、下甲板に居住し各自の品物は衣嚢及手箱に入つてゐる。夜は此處に釣床を吊つて眠る。又別に下士官室がある。

(ハ)艦内には送風機があつて夏は冷い風を冬は暖い風を室内に送り込む。

日課

毎日の日課は冬と夏、碇泊中と航海中で違ふが嚴正な軍規の下に訓練作業が行はれてゐる。

炊事

炊事は准士官以上用と兵員用とに分れ、電氣と蒸氣で煮炊きする。兵員烹炊所には一八〇人分の食事を炊く事の出來る蒸氣竈(四斗炊)五個があり、三十分で飯が出來る。合成調理機といふ非常に洒落た機械があつて、總員分の副食物を三十分位で作る。

清水

軍艦に乘ると眞水の有難さが分る。一日には一二〇石の眞水を使ふが、貯藏の眞水がなくなると機械で海水を沸かして眞水を作る。

衛生

(イ)艦内は狹くて多人數が生活してゐるから衛生には特に注意してゐる。毎日艦内の掃除を行ひ食器は毎回消毒し、食事は毎回點檢し、昇汞水はあちこちに設備し、毎日手先を清め毎月身体檢査をやつて健康保持に努めてゐる。

(ロ)治療の設備は勿論完備してゐる。

酒保

日用品や菓子、罐詰、飲料品等は酒保で一定時間に賣つてゐる。

(終)